

看護師研修 発達支援と障がい児医療 受講者数36名

日時 2023年 11月14日

場所 子ども支援センターげんき研修室

講師 社会福祉法人からしだね うめだ・あけぼの学園 小児神経科医師 角田 祥子氏

【内 容】

3例のケースワーク（グループワーク）を通して集団生活において配慮が必要な子どもに対して専門職として必要なアセスメントや保育をすすめていく上で看護師として関わっていくために必要な疾患等についての知識を学びました。

【受講者の感想】

* 研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか

- ・ 専門職として疾患を理解してアセスメントをしながら一人ひとりをよく見ながら担任や家族とも連携しながら安心して園での生活が送れるようにしていきたいと思った。
- ・ 疾患に対する代表的な合併症や受診のタイミングを学ぶ事ができた。集団生活で注意する事や症状出現時の対応等は園職員と共有していきたい。
- ・ 障がい関連の診断の考え方をわかりやすく学ぶことで診断名にとらわれすぎず関わっていきたいと思った。
- ・ 事例が上げられアセスメントに必要な情報や不足している情報についてグループワークで話あう事で自分とは違う視点の考えがあると感じた。また、緊急対応時には動画を活用して記録していくという話を聞いて実践してみたいと思った。
- ・ 事例ごとに考えられる研修内容であり考えながら研修を受ける事ができた。事例も保育の現場で想定されるケースであり疾患について理解を深める事ができた。看護師としてどのような視点を持ち対応していく事が必要なのか具体的で分かりやすかった。職員間で共有していきたい。
- ・ 小児科医の講義を聞き、教科書で学んできた知識以外の現場ですぐに生かせる子どもと関わる上でのアセスメントのポイントや緊急時対応について学ぶ事ができた。